

基本画像を習得し、豊富な疾患画像を知ること
読解力は身につけられる！

新

OCT. OCTA

読影トレーニング

改訂第2版

監修

飯田 知弘

東京女子医科大学眼科学講座 教授

編集

森實 祐基

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
眼科学講座 教授

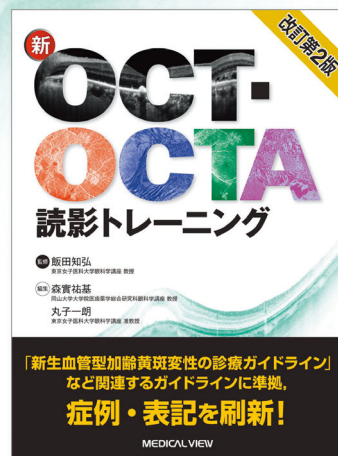
丸子 一朗

東京女子医科大学眼科学講座 准教授

症例と画像・表記を刷新!!

新たに策定された関連ガイドラインに準拠

- OCT・OCTA撮影装置のハード・ソフト両面の
進歩を踏まえてアップデート!!
- 掲載項目・症例数の増加
- 最新の「**新生血管型加齢黄斑変性の診療ガイドライン**」ほか
関連するガイドラインに準拠し刷新
- 豊富な画像とポイントを絞った簡潔な解説文、
見やすいレイアウトで編集



定価15,400円(本体14,000円+税)
B5変型判・456頁・オールカラー
写真1,600点、イラスト30点
ISBN978-4-7583-1645-3

目次

A 基本画像を知ろう

- I. OCT 画像
正常所見
基本所見
アーチファクト
- II. OCT angiography
正常所見
基本所見
アーチファクト
- III. 撮り方のコツ

B 疾患別画像を見よう

- I. 緑内障
- II. 緑内障とまぎらわしい疾患
- III. 視神経病変
- IV. 網膜硝子体界面病変
- V. 加齢黄斑変性
- VI. 中心性漿液性脈絡網膜症
- VII. 新生血管黄斑症
- VIII. 糖尿病網膜症
- IX. 網膜血管病変
- X. 黄斑部出血
- XI. 強度近視、傾斜乳頭症候群
- XII. 裂孔原性網膜剥離
- XIII. 遺伝性網膜変性
- XIV. 網膜外層病変
- XV. ぶどう膜炎
- XVI. 眼内腫瘍
- XVII. その他

MEDICAL VIEW

OCT, OCTA の画像を余すことなく掲載した この1冊で、読影力が自然と身につく!

症例の刷新・追加で
充実の最新版!!

読影の重要ポイントは
Check で
簡潔にわかりやすく記載

IX 網膜血管病変 黄斑部毛細血管拡張症

疾患の概要

- 黄斑部毛細血管拡張症 (macular telangiectasia: MacTel) は特異性に黄斑部網膜の毛細血管拡張を呈する症候群の総称であり、type 1 (1 型) と type 2 (2 型) に分類される。
- type 1 は男女比がほぼ同等で、中心窩部網膜の毛細血管拡張、毛細血管壁による滲漏性変化が特徴であり、わが国で頻度が高い。
- type 2 は欧米に多く、疾患頻度に性差はなく、両眼性で遅く進行を伴う毛細血管拡張とみられるが、現在では Muller 細胞の変性がその病態の主体である。
- 毛細血管拡張は二次的な変化で考えられている。
- type 2 は中心窩の変性・萎縮を二病変としており、OCT では網膜厚は薄く、前述に ILM をもつ Henle 層下 cyst (HSC) の頻発性出血がみられる。
- type 2 は日本人に少なく理解が進んでいないことから、2022 年に「黄斑部毛細血管拡張症 2 型診療ガイドライン (第 1 版)」が策定された。

典型例 1 MacTel type 1 (60 歳、男性)

数年前から右眼の視力低下を自覚し受診。右眼視力は (O.7)。

硬性白網

Check 中心窩部網膜に線性白網と黄斑浮腫がみられる。

FA 早期 FA 後期

中心窩部網膜に毛細血管拡張と多数の毛細血管漏出

Check 血管拡張が早期網膜をまたいで上下に分布するのが type 1 の特徴である。

Check OCT では線形変化と網膜変化が併発が特徴である。
OCT 両眼は毛細血管漏出の程度によりさまざまである。
鑑別が必要な ERVO, DME などでも糖網 OCT 所見を示すため、糖網像、FA および OCTA などと合わせて総合的に診断が必要である。

VIII 糖網病変 糖尿病黄斑浮腫

疾患の概要

- 糖尿病黄斑浮腫 (DME) は網膜症の病期にかかわらず生じ、直接的な視力障害の原因となる。
- DME はその発生源から局所性浮腫とびまん性浮腫に分けられる。局所性浮腫は毛細血管からの滲出によって生じ、高血糖に誘発した硬性白網を持つことが多い。びまん性浮腫は網膜毛細血管の過剰性透過により生じる。実際には両方の要素が存在していることも多い。
- OCT による DME の形態的分類としては①スポンジ性網膜浮腫、② CME, SRD があがる。
- 局所性浮腫に対する治療は毛細血管塞栓に対する直接光凝固である。ただし中心窩から 500 μm 以内には禁忌である。
- 近年、非 VEGF 薬硝子体内注射が主流となっており、びまん性浮腫、中心窩を含む局所性浮腫に対して適応される。
- その他の治療法として、ステロイド薬内投が考慮される。また、硝子体膜剥離、黄斑上膜、肥厚した後部硝子体膜を伴う DME においては硝子体手術も考慮される。
- 浮腫の分類に基づいて糖尿病網膜症診療ガイドライン (第 1 版) では、中心窩を含む糖尿病黄斑浮腫 (cut off: 中心窩 1mm 内の網膜厚 300 μm) や視力および/または糖尿病黄斑浮腫 (網膜毛細血管病変の有無を詳細) 国際重症度分類 (重症度が中心窩を含む糖尿病黄斑浮腫に相当) も紹介されている。

典型例 1 局所性浮腫 (69 歳、男性)

左眼視力低下で受診。左眼視力は (O.1)、光屈折後。

治療前 治療後

硬性白網

Check 黄斑部網膜に中心に CME と網膜変化がみられる。
DPL を中心に硬性白網の注意がある。

Check OCT 両眼は毛細血管漏出の程度によりさまざまである。
鑑別が必要な ERVO, DME などでも糖網 OCT 所見を示すため、糖網像、FA および OCTA などと合わせて総合的に診断が必要である。

眼底カラー写真等に
白破線の矢印や囲みで
OCT・OCTA の範囲を明示

最新画像の読影、
解析を詳しく掲載

画像の特徴を引き出しで
明確に表記

OCTA (網膜表面) 23 × 20mm

原因となる毛細血管 無灌注領域 (NPA)

治療前

毛細血管に對して直接光凝固を施行した。

治療から 3 カ月後


硬性白網は消滅

Check 浮腫は改善。

メジカルビュー社

〒162-0845 東京都新宿区西谷本村町2番30号
TEL.03 (5228)2050 E-mail (営業部) eigo@medicalview.co.jp
FAX.03 (5228)2059 https://www.medicalview.co.jp

スマートフォンで書籍の内容紹介や目次がご覧いただけます。



注文申込書

注文日 年 月 日 ご希望の冊数をご記入ください↓

新 OCT・OCTA 読影トレーニング 改訂第2版

■ 定価 15,400円 (本体 14,000円+税) ISBN978-4-7583-1645-3 冊

フリガナ お名前

〒 (どちらかに○印/ ご自宅・ご勤務先)

お届け先

TEL. ()

取扱店